

JENESYS^{2.0}

JENESYS 2.0 韓国大学生訪日研修団による外務省訪問

平成26年11月

JENESYS 2.0の一環として、11月4日から11月13日まで訪日した外務省招聘 韓国大学生訪日研修団30名が、11月12日午後、外務省の喜多日韓交流室長を訪問しました。

冒頭、喜多室長から歓迎の言葉を述べ、今回の訪日経験を契機に日本について更に関心を持ち、今後の日韓関係の発展のための架け橋になることを期待する旨、挨拶しました。

続いて、訪日団を代表して嘉泉大学校日語日文学科4年生の宋抒炫（ソ・ソヒョン）さんから、研修の報告がありました。宋さんは、今回の研修で多くのことを経験し、日本について学ぶことができた、特に大学訪問ではお互いの文化を理解することができ、今回のテーマである「食文化」を直接体験することで、日本食についての理解を深めることができた、と研修の成果を述べるとともに、日本政府に対して、今後も日韓間の青少年交流事業への積極的な支援の要請がありました。

その後、質疑応答の時間には、訪日した学生達から、外務省の韓国交流事業、日韓関係、日韓メディアのあり方、青少年交流事業等について質問があり、喜多室長から適宜回答しました。



集合写真（上），質疑応答（下）

